

新・京都府環境基本計画の体系

< I > 計画の策定に当たって

① 計画策定の背景

- ・ 現計画策定後の取組とその成果
- ・ 現計画を取り巻く状況変化

② 京都議定書の地・京都の使命と役割

- ・ 自然と共生する京都の知恵や文化を世界へ発信
- ・ 自ら先進的・積極的な地球温暖化対策にチャレンジ

③ 計画の目的・性格(目標設定の考え方)

- ・ 京都府が目指すべき将来の環境像を描写
- ・ 目指すべき環境像を実現するための施策の目標や方向性を提示

< II > 目指すべき京都府の環境像・社会像

① 環境問題の現状

- ・ 京都府が直面する様々な環境問題の現状把握と分析

② 環境をめぐる世界と国の動き

- ・ グローバリゼーションによる環境問題
- ・ 環境保全に向けた世界と国の動き
(地球温暖化、生物多様性等)

③ 21世紀半ばの京都府の環境像・社会像

- 温室効果ガス6～8割減の低炭素社会が現実のものに
- 低炭素社会に適応したライフスタイルとそれを支えるまちづくり
- 京都の資源や知見を活かした新しい産業と雇用が生まれ成長
- 多様な生態系の保全や自然との共生を大切にする取組の拡がり
- 安心・安全で環境負荷の少ない循環型社会

< III > 環境施策の基本方針

① これからの環境施策のミッション

「京都の知恵と文化を活かして
低炭素社会に適応した新しい社会・経済モデルを創る」

② 10年間(2020年頃)の目標設定

- ・ 2020年を目標とするCO2排出量削減目標の設定、
生物多様性、自然環境、生活環境、廃棄物の減量化等

< IV > 施策展開の方向

低炭素社会づくりに向けて
各分野別地球温暖化対策

安心・安全な生活環境の管理に向けて
大気、水、土壌等の環境マネジメント

持続可能な社会づくりのための
政策連携

豊かな自然環境と生物多様性の保全に向けて
生物多様性の確保や人と自然の共生

循環型社会の形成に向けて
廃棄物の減量やリサイクル対策の推進

< V > 計画の推進に向けて

- ① 京都の知恵と文化を活かす (京都に蓄積された知恵や価値観を活かし、ライフスタイルの転換を促進、次代を担う子どもたちに伝えていく)
- ② 府民、NPO、企業、大学等との協働 (幅広いステークホルダーの理解、共感、協働を巻き起こすための取組)
- ③ まちづくり、産業、暮らしへつなげる (環境と産業と社会の持続性を高める都市部と農村部の地域特性を活かしたアプローチ)
- ④ 関連条例、計画、アクションプランによる実効性の確保 (変化の早い時代の環境課題に的確に対応、PDCAサイクルによる実効性確保)